



為桜祭 2020

7月22日（水）



開祭式校長挨拶要旨

おはようございます。

為桜祭が毎年開催となり、楽しみにしていたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響で1か月以上遅れての開催となり、開祭式は放送で行うことになりました。現在のような状況で、変則的ながら開催できたことを素直に喜び、準備に当たったすべての生徒と職員に感謝します。

本来であれば今日は、夏休み前の全校集会を行い、東京オリンピックの開会を2日後に控え、国中がわくわくした気分に含まれているはずでした。残念ながら、あるはずの日常は失われました。見通しのきかない状態に、心が晴れない日々が続きます。

それでも、時計の針は動いています。下妻一高の学校活動も前進しています。不自由な中にも為桜祭は開催することができました。学校のグランドデザインにもあるように「挫折や失敗を怖れない復元力」で、困難な状況に直面しても、それを笑い飛ばすような逞しさや強かさを発揮して欲しいと思います。一日だけ、しかも一般公開ありませんが、今できることを精一杯表現しようとする皆さんに心から拍手を送り、私も楽しませていただきます。

感染防止のための3密を避け、手洗いうがい・消毒を実行しながら、今年度の為桜祭が成功することを祈って挨拶とします。